

地域未来塾とは

事業の趣旨

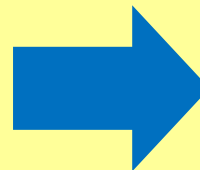
未来を担う子どもを健やかに育むためには、経済的な理由等により家庭の学習が困難であったり、学習習慣が十分に身につけていない中学生に対し、学習支援を行う場づくりを進める必要がある。

そのため、学校教職員や現役の大学生、高専生、地域住民などの協力により、学校の放課後、長期休業などを活用して学習支援の場（地域未来塾）を設置する。 ※原則無料

目的

学習機会の提供を通して、

- 学習習慣の確立
- 基礎学力の定着
- 学習の遅れを取り戻す



学習意欲の向上

荒尾市教育委員会

支援員の確保、謝金の支払、物品発注、補助金申請など

荒尾海陽中

荒尾第三中

荒尾第四中

会場の提供 生徒の決定 など

地域コーディネーター

学習支援員の連絡調整 など

学習支援員

個別指導・自習

地域未来塾実施内容 (平成27年度から開始)

【実施方法】

学習支援員による個別指導と自習

【実施時期】

7月中旬～2月初旬まで

午後4時半～（夏2h、冬1.5h程度）

【実施回数】

各校 40～60回程度（週2回程度）

【学習支援員】

4～5人／回 程度

【実施教科、対象生徒】

学校、地域コーディネーターと協議

【使用教材】

- ・ 学校購入教材
- ・ 学習支援員が選定した問題集、プリント など

地域未来塾実績

	総開催数	参加人数ほか(概算)		
		コーディネーター・支援員	参加生徒	その他
令和元年度	171回 海:49、三:70、四:52	24人 海:8、三:8、四:8	85人 海:30、三:25、四:30	
令和2年度	147回 海:42、三:56、四:49	29人 海:9、三:11、四:9	77人 海:25、三:15、四:37	
令和3年度	93回 海:13、三:45、四:35	26人 海:9、三:9、四:8	77人 海:41、三:20、四:39	コロナの影響により回数減少
令和4年度	130回 海:35、三:57、四:38	33人 海:12、三:12、四:9	66人 海:25、三:15、四:26	
令和5年度	130回 海:34、三:58、四:38	37人 海:14、三:13、四:10	73人 海:22、三:24、四:27	
令和6年度	134回 海:33、三:53、四:48	36人 海:13、三:13、四:10	66人 海:29、三:20、四:17	
令和7年度	約130回予定 (月8回程度)	37人 海:12、三:13、四:12	154人 海:52、三:22、四:28	

各学校での取り組み

海陽 中学校

- ・3年生対象
- ・英検受験者に対し教材を準備し、英検対策を充実
- ・共通テスト対策、単元テスト対策の教材を準備
- ・夏休み、冬休みの宿題として、基本プリントを準備

第三 中学校

- ・1～3年生対象
- ・最初の10分間で英会話練習をおこないリスニングの力を伸ばす
- ・小テストをおこない苦手な部分を見つける

第四 中学校

- ・3年生対象
- ・生徒の志望校を確認し、各生徒の志望校にあわせた教材を準備





活動の様子



実施後アンケート結果 (令和6年度分)

<生徒>

- 未来塾のおかげで普段勉強しない僕でも勉強できるようになった
- 受験合格できてよかった
- 数学が分かった
- 高専の人とたくさん話すことができてよかった
- 未来塾で勉強してとても成長できた
- 英語が好きになった
- 自分の学校でこのように勉強を教えていただける環境を提供してもらえてありがたかった
- このような取り組みが続いていくといいなと感じた

<学習支援員>

- 生徒さんが真剣に取り組んでいてよかった
- 高専生や社会人などいろいろな先生がいたのでそれぞれの強みを生かして対応できたのがよかった